

大河内小だより



2026

<http://www.okawachisho.com> 令和8年1月9日

あけましておめでとうございます

2026年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ご家族の皆さまと過ごした年末年始、子どもたちはきっと楽しい思い出がたくさんできたことでしょう。初詣、お節料理、年始の挨拶と、もらって嬉しいお年玉など、家族とゆったり過ごせた時間は宝物です。

1月8日、エネルギーがたまった子どもたちが学校に戻ってきました。

新たな一年の始まりにあたり、「今年はこのことを頑張ろう!」と自分にあった目標を立てることはとても大切です。お子さんは、どんな目標を立てたでしょうか。3月まで期間は短いですが、さらに個々の力を伸ばせるよう、そして充実した小学校生活となるよう、職員一同、力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



今年は、午年。午【うま】にまつわるお話です。

午(馬)は働きながら、運を呼び込む動物とされているそうです。午年は、十二支の中では7番目で、太陽が最も高く昇る「正午」を象徴しており、「陽気」「情熱」「前進」「飛躍」といった明るく力強いエネルギーに満ちた年とされています。特に、午は「炎の気」を持つとされ、活気や情熱が高まる時期を示しているのだそうです。

また、2026年は「丙午(ひのえうま)」と呼ばれ、十干の「丙(ひのえ)」と十二支の「午(うま)」が組み合わさった年です。「丙」は陽の火を表し、「午」も炎の気を持つため、火のエネルギーが重なる非常にパワフルな年になります。今年は情熱が燃え上がるような一年であり、新しい挑戦や計画を実行に移すには最適なタイミングとされています。

つまり今年は、情熱や行動力を象徴する年であり、丙午というタイミングにより、そのエネルギーがさらに強まる年となりそうです。

2026年。さあみなさんは、どんな新しい挑戦や計画を実行に移しますか？

自分の決めた目標に向かって前向きにどんどん進んでいきましょう。

大河内小学校の校歌の作者発見のお話(実話)が、全国版の絵本になります!



令和8年1月1日、タリ三重の1面に本校の記事が載りました。

記事の内容は、校歌の作者発見にまつわるお話が絵本として全国で出版されることになった、というものです。

63年もの長い間、作者が秘されてきたのは、当時の先生方の奥ゆかしい約束が、現在までずっと守られていたからだった。この事実を取り上げて、木村美幸さん、松本春野さん、アリス館さんのご尽力のもとで絵本として出版していただくそうです。

3年生が文化祭で発表したことが絵本になります!なんて素敵なことでしょ。完成を楽しみにしててくださいね。

地域の山口さんから素敵なフルーツをいただきました!

全校児童にさつまいも掘りを体験させてくださった山口さんからまたまた素敵なプレゼントをいただきました。それは、ビッグサイズの果物2種類です。どんな果物だと思いますか。子どもたちにはこれから『お正月クイズ』と称し、自由に挑戦してもらい、正解者にはその果物をもらってもらおうという企画を考えています。2026年も、地域の皆様のありがたい支えのもと、子どもたちが喜ぶ企画を繰り広げたいと思います。果物、気になる方は、学校にお越しの際にみてくださいね。びっくりすること間違いなしです♪

本の贈呈式がありました

住民自治協議会の協力のもと、福祉施設で過ごされている皆さんに高学年がメッセージとフラワーアレンジメントを作って贈っています。今年も、エスペランサ笹川さんの母体である【株式会社】アルバ様の木下社長から、大河内小学校の皆さんへたくさんの本をプレゼントしていただきました。本当にありがとうございました。大切に読ませてください。(12月25日付でタリ三重にも掲載されました)

